

■ 講師紹介

教授 やつなみ 八並 みつとし 光俊

● E-Mail : verite@rs.kagu.tus.ac.jp

【所属】 東京理科大学大学院科学教育研究科/理学部第一部（神楽坂キャンパス）

【専門】 生徒指導（スクールカウンセリング） 【兼職】 文部科学省視学委員

【専門領域・テーマ】

- (1) 学校心理学・カウンセリング心理学に基づく生徒指導（教育相談）研究
- (2) データ・ベース・スクールカウンセリング研究
- (3) ネットワーク型生徒指導体制（サポートチーム）研究
- (4) ガイダンスカリキュラム（授業型生徒指導）研究

【客員研究・文科・内閣府・OECD】

1. 客員研究員
 - (1) インディアナ大学教育学部文部省客員研究員
 - (2) 東京大学教育学部文部省客員研究員
2. 主な文部科学省・内閣府・OECD 委員歴
 - (1) 学校と関係機関等との行動連携に関する研究会委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課）
 - (2) 不登校への対応の在り方に関する調査研究会委員（国立政策教育研究所生徒指導センター）
 - (3) 生徒指導上の諸問題に関する調査研究委員会委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課）
 - (4) 生徒指導体制の在り方に関する調査研究委員会委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課）
 - (5) 不登校への対応におけるNPO等の活用に関する実践研究事業審査評価委員会委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課）
 - (6) 教育相談等に関する調査研究会協力者会議委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課）
 - (7) 少年非行事例等に関する調査研究企画分析委員（内閣府）
 - (8) いじめ・暴力国際ネットワーク国内委員（OECD）

【科学研究助成・学会】

1. 主な科学研究助成による研究
 - (1) 文科省・科研『システムズアプローチに基づく学校教育相談の一次支援モデルに関する実証的研究』
 - (2) 文科省・科研・特別研究助成『不登校児童生徒の「適応の場」に関する総合的研究』
 - (3) 文教協会・研究助成『児童自立支援施設と大学とのチームサポートによる社会的自立プログラムの開発研究』
2. 主な学会活動等
 - (1) 日本生徒指導学会／理事・事務局長・機関誌編集委員・広報委員
 - (2) 日本学校心理学学会／理事・広報委員
 - (3) 日本教育相談学会／調査研究委員・テキスト編集委員
 - (4) 学会連合資格「学校心理士」認定運営機構／理事・運営委員

【主な論文他】

「いじめを原因とする不登校生徒へのチーム援助効果の分析」（『生徒指導学研究』，単著，2002）：「連載チームサポートの理論と実際」（学事出版，単著，2003-2004）：「三次的援助サービスのためのチーム援助データベースの開発とチーム援助体制の改善効果に関する研究」（『生徒指導学研究』，単著，2003）：「サポートチーム等地域支援システムとの連携（第一法規，単著，2004）：「クラスの荒れを防ぐカウンセリング」（ぎょうせい，共著，2004）：「生徒指導資料第2集 不登校への対応と学校の取り組みについて」（国立教育政策研究所生徒指導研究センター，共著，2004）：「学校と関係機関等との行動連携を一層推進するために」（学校と関係機関等との行動連携に関する研究会，2004）：「社会性と個性を育てる 毎日の生徒指導」（図書文化，共著，2006）：「学校心理学ガイドブック」（学会連合資格学校心理士認定機構，共著，2006）「応用実践期におけるチーム援助研究の動向と課題ーチーム援助の社会的ニーズと生徒指導との関連からー」（日本教育心理学会編『教育心理学年報』，単著，2006）：「子どもの暴力に対する連携のあり方」（『児童心理』，単著，2007）：「対話で学ぶ臨床心理学」（ナカニシヤ出版，共著，2007）：「不登校」（ゆまに書房，共著，2008）：「教育実践心理学」（ナカニシヤ出版，共著，2008）：「生徒指導資料第3集 規範意識をはぐくむ生徒指導体制」（国立教育政策研究所生徒指導研究センター，共著，2008）：「新生徒指導ガイド」（図書文化，共編著，2008）：「サポートチームによるいじめの取組と組織的な予防」（『生徒指導学研究』，単著，2008）など多数／●その他：文部科学省教員養成 GP（Good Practice）「理数教員養成における STC プログラム開発」事業推進責任者（2006 年・2007 年）※ STC（School To Career）※ 2009 年度アメリカ国務省の招待プログラムの参加（International Visitor Leadership Program）